

運用報告書(全体版)

第5期

(決算日：2016年10月25日)

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要運用対象	投資信託証券(投資信託の受益権または受益証券および投資法人の投資証券をいい、外国投資信託の受益権または受益証券および外国投資法人の投資証券を含みます。以下同じ。)を主要投資対象とします。
組入制限	① 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③ 株式への直接投資は行いません。 ④ デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤ 投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2016年10月25日に第5期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 SBI Asset Management

SBIAセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2011年10月28日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 587
1期(2012年10月25日)	10,041	200	2.4	98.4	440
2期(2013年10月25日)	12,141	2,000	40.8	96.8	380
3期(2014年10月27日)	13,801	1,800	28.5	98.2	662
4期(2015年10月26日)	13,611	1,000	5.9	98.3	1,834
5期(2016年10月25日)	10,700	300	△ 19.2	98.6	1,506

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

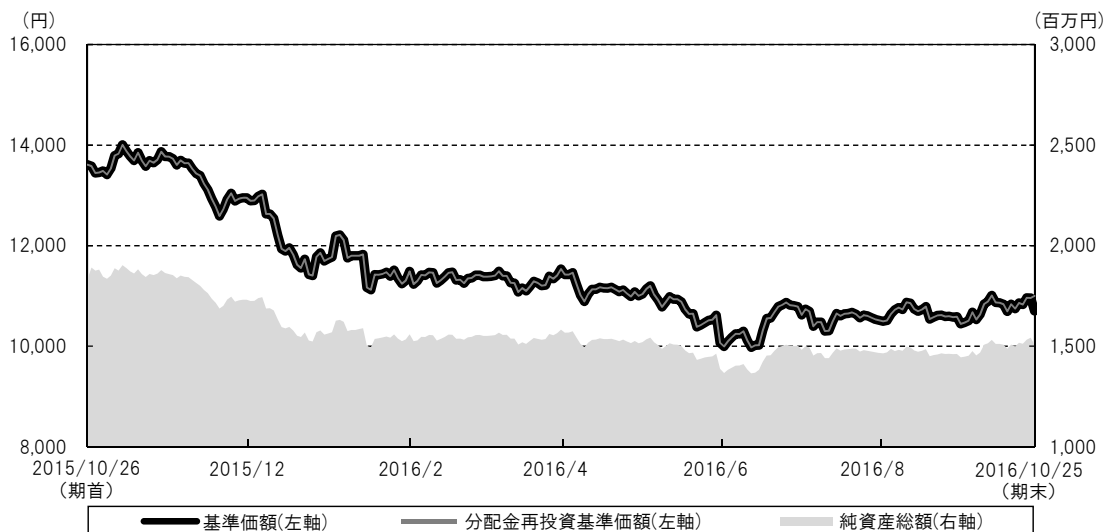
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2015年10月26日	円 13,611	% -	% 98.3
10月末	13,486	△ 0.9	99.5
11月末	13,604	△ 0.1	99.8
12月末	12,979	△ 4.6	99.6
2016年1月末	11,771	△ 13.5	98.9
2月末	11,487	△ 15.6	98.6
3月末	11,404	△ 16.2	98.2
4月末	11,463	△ 15.8	97.7
5月末	11,140	△ 18.2	97.4
6月末	10,176	△ 25.2	97.9
7月末	10,691	△ 21.5	97.5
8月末	10,724	△ 21.2	99.1
9月末	10,675	△ 21.6	98.8
(期末) 2016年10月25日	円 11,000	% △ 19.2	% 98.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2015年10月27日から2016年10月25日まで）

○基準価額等の推移



期 首：13,611円

期 末：10,700円（既払分配金（税込み）：300円）

騰 落 率：△19.2%（分配金再投資ベース）

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2015年10月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、中国の景気減速懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行など

○投資環境

※以下の内容は、「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラス」受益証券（以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。）のファンド・マネジャー（ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド）のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2015年11月から2016年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境（株式市場・外国為替市場）

年初の世界の株式市場は、投資家が引き続き中国の景気減速を懸念し、不安定な相場付きで始まりました。中国A株市場や香港株式市場は直近数年間で最も低い収益率を記録し、中国・香港市場の急落は2016年1月の世界同時株安の引き金となりました。1月の1カ月間でMSCIファー・イースト・インデックス（除く日本）は約8%、S&P500種株価指数は約5%下落しました。底値圏からの反発は、6月に起きた予想外の英国の欧州連合（EU）離脱決定により、水を差されました。

EU離脱決定により、株式市場は世界的な急落に見舞われました。これまでEU離脱国はなかったことから、前例のない先行き不透明感をもたらしました。幸いにも、投資家が落ち着き、離脱決定の悪材料を消化するにつれて、魅力的なバリュエーションに加えて、政治的に安定したアジア株の買い増しを様々なエコノミストやストラテジスト達が呼び掛け始めました。

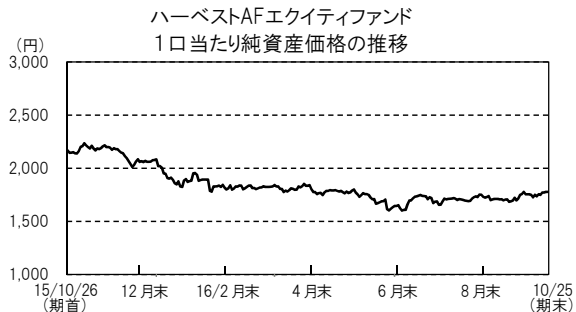
また、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げに慎重な姿勢を採り続けたことから、米国の利上げペースが予想よりも速くなるとの懸念は徐々に消失しました。米利上げの遅れに伴い、新興国通貨や商品市況は上昇し始め、新興国株式市場にもプラスに作用しました。

さらに、中国が市場予想を上回る良好な経済指標を発表したことから、アジア株式市場は資本流入が進み、反発しました。2016年9月を強含みで終えた中国株式市場は、四半期ベースでは2009年以来の上昇率を記録し、年初来の他市場への後れを取り戻しました。とは言え、直近2〜3カ月間における新興国株式市場の持ち直しは、米大統領選を控えて投資家が様子見姿勢を採ったためです。トランプ氏の予想外の勝利は、世界の地政学的環境に大きな不確実性を生み出したことから、短期的には市場の変動率は高止まりしそうです。

アジア・フロンティア株式市場は、過去の急落に比べて下値抵抗力を見せましたが、中国発の世界同時株安によりフロンティア諸国の通貨も悪影響を受けたことから、年初の急落を免れることは出来ませんでした。それでもなお、アジア・フロンティア市場は2016年4-6月期に堅調なパフォーマンスを見せ、英国のEU離脱決定の影響を回避し、変動率の高まったグローバル市場で引き続き下値抵抗力を発揮しました。

底打ちした商品市況の動向も、カザフスタンなど商品市況への依存度の高い国々の相場上昇を促しました。当期間中のカザフスタン市場は、自国通貨安にもかかわらず、原油相場の反発により、ドルベースで+14.7%の上昇を記録しました。ベトナム市場も、外国人持ち株比率の上限引き上げにより、投資家心理に大幅な改善が見られ、ベトナム市場で時価総額最大のベトナム乳業（ビナムルク）が上場後高値を更新しました。

2016年7月にテロリストの襲撃に見舞われたバングラデシュ市場は、その後反発し、下落分の一部を取り戻しました。一方、スリランカ市場とモンゴル市場では大きな反発は見られませんでした。スリランカ市場は、新政



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の基準価額に反映されます。

権の税制や予算案に関する態度が目まぐるしく変化したことから、年初から急落に見舞われ、2016年1-3月期に12%以上下落しました。その後は若干反発したものの、前年末比でプラス圏には浮上していません。また、アジア・フロンティア5カ国の市場の中で最も大きく下落したのはモンゴル市場で、2016年7-9月期に通貨ツグリグが対ドルで13%下落する中、株式市場もドルベースで19%下落しました。モンゴルは、商品市況が回復したにもかかわらず、引き続き財政赤字に苦しんでいます。国債の格下げや国際通貨基金（IMF）による救済が通貨急落の引き金となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第5期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託（円建て）「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額（分配金込み）は△19.2%の下落となりました。

以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオについてです。

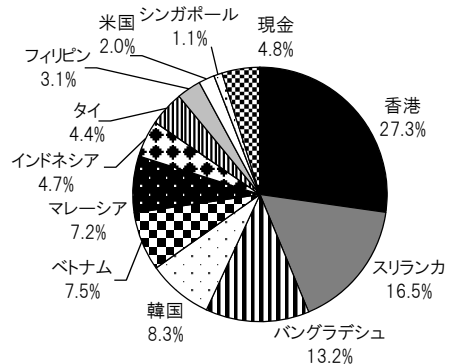
※ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー（ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド）のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

当期間中の参考指数に対するハーベスト AF エクイティ ファンド（クラス J）の相対収益は△12.95%となりました。アジア・フロンティア5カ国の中で堅調な収益率を上げたベトナム、カザフスタンの組入比率をそれぞれ参考指数比で低下またはゼロとしたことが要因であり、主に国・地域別の資産配分がファンド収益を低下させる結果となりました。

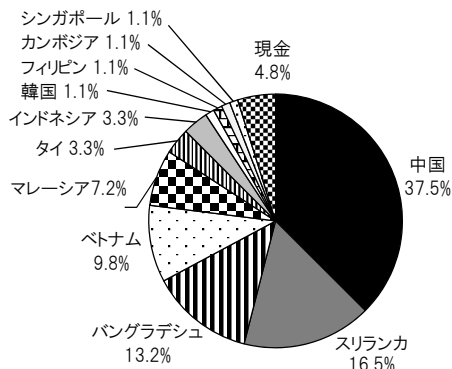
なお、当期間中は、ベトナム銘柄や参考指数に含まれないタイ銘柄がファンド収益に最もプラスに寄与しました。当期間中に最も高い収益率上げた銘柄は、タイ空港公社やビナムミルクで、それぞれ36%、47%上昇しました。タイ空港公社は、タイへの外国人観光客数が急速に伸びたことにより、株価上昇が加速しました。ベトナムの代表的な株価指数の構成銘柄であるビナムミルクは、ベトナム政府による外国人持ち株比率の上限引き上げを受けて、株価が再評価されました。

一方、当期間中にファンド収益を低下させたのは、参考指数に含まれない中国西部フロンティア地域関連銘柄です。我々の中核銘柄の1つであるメディア関連企業の世紀睿科控股（センチュリー・セージ・サイエンティフィック・ホールディングス）は、当期間中にドルベースで51%の急落に見舞われました。主な下落要因としては、特に同社に関連するニュースはなかったことから、2016年1-3月期に投資家のリスク回避姿勢が強まり、中国・香港市場の多くの小型株で評価が大幅に引き下げられたことによるものと見られます。

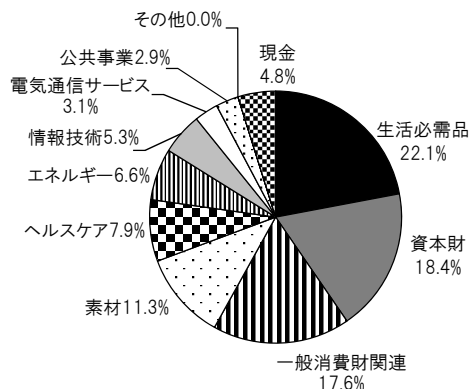
投資市場別構成比率（2016年9月末現在）



投資対象国・地域別構成比率 (2016年9月末現在)



セクター別構成比率 (2016年9月末現在)



組入上位5銘柄 (2016年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトナムデイリー	ベトナム	生活必需品	5.3%
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	4.4%
チャイナ・コミュニケーションズ・コンストラクション	香港	資本財	3.3%
ジョン・キールズ	スリランカ	資本財	3.3%
リンデ バングラデシュ	バングラデシュ	素材	3.1%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○分配金

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額（配当等収益額から経費等を控除）を算出し、基準価額の水準などを考慮した結果、1万口当たり300円（税込み）の収益分配を行うことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 5 期
	2015年10月27日～ 2016年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	300 2.727%
当期の収益	—
当期の収益以外	300
翌期繰越分配対象額	699

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税込み）と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー（ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド）のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

アジア・フロンティア株式市場の長期的な見通しについて、我々は引き続き自信を持っています。しかし、年初からマクロ経済や地政学的なリスクが投資家心理に悪影響を及ぼしているため、株式市場が抱える潜在的なリスクも認識しています。それでもなお、中国のマクロ経済指標が徐々に回復していることから、新興国市場の最悪期は既に脱した可能性があり、米国の利上げも予想より緩やかなものになっています。とは言え、先行きは困難な状況が待ち構えており、特に株式市場は英国のEU離脱やトランプ氏が米大統領になるという新たな現実と直面しています。政治に関する先行き不透明感は引き続き先進国市場の重しとなっていることから、新興国市場やフロンティア市場の収益率は先進国市場の収益率を上回ると見ています。

アジア・フロンティア株式市場は外国人投資家には十分認知されていない状況が続いています。アジア・フロンティア諸国のGDP成長率は、今後数年間にわたって先進国市場のGDP成長率を上回り、株式市場のパフォーマンスにも反映されるでしょう。また、アジア・フロンティア諸国の経済開発は、中国の一帶一路政策などインフ

ラ投資の増加により押し上げられるでしょう。先進国が国内政治の変化に苦しむ中、中国は直接投資を通じて自国の影響が及ぶ範囲をフロンティア諸国に拡大させると考えます。こうした中国の直接投資は、外国直接投資を大いに必要としている国々に恩恵をもたらすでしょう。一帯一路政策は、2016 年年初のアジアインフラ投資銀行の公式開業以降、少しずつ実行され始めています。一連の投資活動や投資プロジェクトとしては、ロシアと北京を結び、将来的にはカザフスタンとユーラシア鉄道まで繋げる 210 億ドル相当の鉄道建設プロジェクトなどが確認されています。南アジア地域では、推定 460 億ドル相当のプロジェクトが中国・パキスタン経済回廊の建設計画に伴って始動しています。また、政府支援や金融支援を受けた中国企業は、インドネシアやマレーシアのインフラ開発プロジェクトの参画に向けて、これらの国々に進出しています。

米国のトランプ政権下では環太平洋パートナーシップ協定の批准は実現しないかもしれませんが、製造業の新たな中核拠点として、中国に取って代わろうとするベトナムの国際競争力を阻害するようなことにはならないでしょう。過去数年間ベトナムは経済を外資に開放するなど大幅な改革を実行しており、国営企業の民営化も進捗しています。バングラデシュやスリランカも徐々に変化を遂げ、輸出産業をさらに拡大しようとしています。グローバル経済が底打ちし、財政刺激策が世界的に実施されるとの期待が高まるにつれて、商品市況の見通しは魅力的なものになってきています。したがって、我々はカザフスタンへの投資を行うことにより、商品関連銘柄の組入れを再開しています。

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月27日～2016年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 168	% 1.443	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(75)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(88)	(0.754)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファン ドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.123	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益 権口数
(監 査 費 用)	(4)	(0.031)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係 る費用
(印 刷)	(11)	(0.093)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	182	1.566	
期中の平均基準価額は11,633円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

○売買及び取引の状況

(2015年10月27日～2016年10月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国(邦貨建)	ハーベスト・アジアフロンティア エクイティファンド クラスJ	口	千円	口	千円
		59,889	120,000	54,477	110,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月27日～2016年10月25日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年10月25日現在)

(1) 国内投資信託証券

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	口 988,578	千円 984	% 0.1
合 計	988,578	984	0.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券(邦貨建)

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ハーベスト・アジアフロンティア エクィティファンド クラスJ	口 834,959	千円 1,484,314	% 98.5
合 計	834,959	1,484,314	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,485,299	% 95.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	75,270	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,560,569	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年10月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,560,569,111
コール・ローン等	75,270,078
投資信託受益証券(評価額)	1,485,299,033
(B) 負債	54,083,391
未払収益分配金	42,239,690
未払解約金	321,992
未払信託報酬	10,679,052
未払利息	206
その他未払費用	842,451
(C) 純資産総額(A - B)	1,506,485,720
元本	1,407,989,693
次期繰越損益金	98,496,027
(D) 受益権総口数	1,407,989,693口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,700円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,347,405,073 円
期中追加設定元本額	355,784,600 円
期中一部解約元本額	295,199,980 円

○損益の状況(2015年10月27日～2016年10月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,138
受取利息	659
支払利息	△ 18,797
(B) 有価証券売買損益	△ 281,905,417
売買益	43,940,636
売買損	△ 325,846,053
(C) 信託報酬等	△ 24,618,722
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 306,542,277
(E) 前期繰越損益金	△ 33,530,496
(F) 追加信託差損益金	480,808,490
(配当等相当額)	(△ 1,029)
(売買損益相当額)	(480,809,519)
(G) 計(D + E + F)	140,735,717
(H) 収益分配金	△ 42,239,690
次期繰越損益金(G + H)	98,496,027
追加信託差損益金	438,568,800
(配当等相当額)	(△ 1,029)
(売買損益相当額)	(438,569,829)
繰越損益金	△ 340,072,773

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(140,736,746円)より分配対象収益は140,736,746円(10,000口当たり999円)であり、うち42,239,690円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	300円
----------------	------

<参考情報>

主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ
ファンド形態	香港籍外国投資信託証券（円建て）
運用方針	主にバングラデシュ、モンゴル、カザフスタン、スリランカ、ベトナム等の企業及び当該各国で主な事業展開をする企業の上場株式等*に投資します。また、香港やシンガポール等の証券取引所に上場する、流動性の高いフロンティア関連企業及び今後成長が見込まれる中国西部のフロンティア地域（内モンゴル、チベット、新疆、雲南等）の株式等にも実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。 ※一部、上場予定の未公開株式及び債券等に投資する場合があります。
信託期間	原則として無期限
決算日	12月31日（香港の銀行が休業日の場合は前営業日）
信託報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.65%
関係法人	管理会社：ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド（香港）
	保管会社、管理事務代行会社：BNPパリバ・セキュリティーズ・サービスズ（香港）
	受託銀行：BNPパリバ・トラスト・サービスズ（香港）リミテッド

■ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJの状況

2016年10月25日現在入手している最新（2015年12月31日現在）の状況です。

○保有有価証券明細（2015年12月31日現在）

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
Listed equities securities			
BANGLADESH			
BATA SHOE CO BANGLADESH LTD	31,468	528,390	2.18
BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH CO LTD	32,446	1,219,903	5.04
GRAMEENPHONE LTD	75,498	243,402	1.01
HEIDELBERGER CEMENT BANGLADESH LTD	75,327	539,551	2.23
LINDE BANGLADESH LTD	39,813	577,548	2.39
		3,108,794	12.85
CHINA			
CENTURY SAGE SCIENTIFIC HOLDINGS LTD	9,496,000	1,372,305	5.67
CHINA COMMUNICATIONS CONSTRUCTION CO LTD	233,000	238,107	0.98
CNOOC LTD	440,000	458,161	1.89
COUNTRY GARDEN HOLDINGS CO LTD	600,000	246,190	1.02
COWELL E HOLDINGS INC	1,462,000	607,428	2.51
FOSUN INTERNATIONAL LTD	148,000	231,068	0.95
SHANGHAI JIN JIANG INTERNATIONAL HOTELS GROUP CO LTD	2,112,000	891,115	3.68
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP HOLDINGS LTD	127,000	730,034	3.02
TENCENT HOLDINGS LTD	42,500	836,278	3.46
		5,610,686	23.18
HONG KONG SAR			
CARNIVAL GROUP INTERNATIONAL HOLDINGS LTD	4,360,000	562,572	2.32
KERRY LOGISTICS NETWORK LTD	330,000	481,154	1.99
PURAPHARM CORP LTD	922,500	514,212	2.13
		1,557,938	6.44

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
INDONESIA			
ACSET INDONUSA TBK PT	2,178,300	477,219	1.97
MITRA KELUARGA KARYASEHAT TBK PT	2,313,600	402,803	1.66
		<u>880,022</u>	<u>3.63</u>
MACAU			
SANDS CHINA LTD	71,200	<u>242,995</u>	<u>1.00</u>
MALAYSIA			
GD EXPRESS CARRIER BHD	1,185,400	477,637	1.97
IHH HEALTHCARE BHD	413,800	634,166	2.62
PROLEXUS BHD	987,200	588,616	2.43
		<u>1,700,419</u>	<u>7.02</u>
MONGOLIA			
APU JSC	89,367	<u>172,591</u>	<u>0.71</u>
PHILIPPINES			
GLOBAL FERRONICKEL HOLDINGS INC	8,554,000	125,433	0.52
UNIVERSAL ROBINA CORP	123,940	489,913	2.02
		<u>615,346</u>	<u>2.54</u>
SINGAPORE			
SINGAPORE POST LTD	293,000	<u>338,712</u>	<u>1.40</u>
SOUTH KOREA			
CJ CGV CO LTD	5,558	597,252	2.47
CJ KOREA EXPRESS CO LTD	2,970	483,792	2.00
ORION CORP/REPUBLIC OF KOREA	418	416,021	1.72
		<u>1,497,065</u>	<u>6.19</u>

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
SRI LANKA			
CEYLON COLD STORES PLC	109,981	321,442	1.33
CEYLON TOBACCO CO PLC	90,009	619,299	2.56
CHEVRON LUBRICANTS LANKA PLC	287,336	685,224	2.83
DIALOG AXIATA PLC	3,230,455	239,625	0.99
JOHN KEELLS HOLDINGS PLC	641,644	792,213	3.27
LION BREWERY CEYLON PLC	322,394	1,408,029	5.82
NESTLE LANKA PLC	20,104	285,637	1.18
		<u>4,351,469</u>	<u>17.98</u>
VIETNAM			
SOUTHERN AIRPORTS SERVICES JSC	288,100	397,203	1.64
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	115,200	655,797	2.71
		<u>1,053,000</u>	<u>4.35</u>
Total listed equity securities		<u>21,129,037</u>	<u>87.29</u>
Depository receipt			
CHINA			
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	3,407	<u>276,887</u>	<u>1.14</u>
THAILAND			
AIRPORTS OF THAILAND PCL	107,200	1,030,741	4.26
MINOR INTERNATIONAL PCL	673,300	678,258	2.81
UNIQUE ENGINEERING & CONSTRUCTION PCL	543,300	332,155	1.37
		<u>2,041,154</u>	<u>8.44</u>
Total Depository receipt		<u>2,318,041</u>	<u>9.58</u>

	株数	評価額 (米ドル)	純資産比率 (%)
Total investments, net		23,447,078	96.87
Other net assets		758,870	3.13
Net assets attributable to unitholders (after amortisation of preliminary expense adjustment)		<u>24,205,948</u>	<u>100.00</u>
Total Investments, at cost		<u>22,511,889</u>	

貸借対照表

2015年12月31日

(米ドル)

資産

金融資産	23,447,078
ブローカーからの受取金	302,127
その他未収金	30,370
現金、現金等価物	882,040
資産合計	24,661,615

負債

金融負債	45
支払管理手数料	764
監査報酬	37,763
管理費	18,571
ブローカーへの未払金	370,920
受託料	916
その他未払金	26,688
負債合計	455,667

純資産

24,205,948

受益者に帰属する純資産(ファンド設立費用償却前)

24,205,948

包括的利益計算書

2015年1月1日から2015年12月31日

(米ドル)

収益

投資対象資産から得た収益	(717,362)
受取配当金	385,018
利息	1
その他利益	2,881
	<hr/>
	(329,462)
	<hr/>

費用

運営費用	8,759
監査報酬	28,149
保管費用	48,779
専門家報酬	40,882
管理報酬	237,592
その他費用	5,508
業務費用	292,769
受託報酬	11,160
	<hr/>
	673,598
	<hr/>

税引前利益	(1,003,060)
所得税	(35,886)
当期純利益	<hr/>
	(1,038,946)

サブファンドの信託報酬の差異調整	<hr/>
	(13,299)

受益者に帰属する純資産の増加額	<hr/>
	(1,052,245)

■ F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2016年10月25日現在入手している最新（第6期決算日（2016年9月26日現在））の状況です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年9月26日~2016年9月26日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.141	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は 9,969 円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。
(投 信 会 社)	(11)	(0.108)	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	15	0.146	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

	当期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 2,259	千口 4,029	千円 4,090

(注) 親投資信託の当期末における受益権総口数は 7,544,440 千口です。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 4,090	% 99.9
コール・ローン等、その他	3	0.1
投資信託財産総額	4,093	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2016年9月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,093,367円
コール・ローン等	2,368
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	4,090,719
未 収 入 金	280
(B) 負 債	2,448
未 払 信 託 報 酬	2,406
そ の 他 未 払 費 用	42
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	4,090,919
元 本	4,106,396
次 期 繰 越 損 益 金	△15,477
(D) 受 益 権 総 口 数	4,106,396口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	9,962円

■損益の状況 (自2015年9月26日 至2016年9月26日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	62円
売 買 益	833
売 買 損	△771
(B) 信 託 報 酬 等	△3,883
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△3,821
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△4,551
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△7,105
(配 当 等 相 当 額)	(102,280)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△109,385)
(F) 計 (C + D + E)	△15,477
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△15,477
追 加 信 託 差 損 益 金	△7,105
(配 当 等 相 当 額)	(102,562)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△109,667)
分 配 準 備 積 立 金	95,831
繰 越 損 益 金	△104,203

- (注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産マザーファンド（第9期決算日（2016年9月26日現在））」の組入資産の内容等の状況

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年9月26日~2016年9月26日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.003	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.003)	
合 計	0	0.003	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産の明細

<国内(邦貨建)公社債>

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	300,000 (300,000)	300,499 (300,499)	3.9 (3.9)	— (—)	— (—)	— (—)	3.9 (3.9)
特 殊 債 券 (除く金融債)	2,243,000 (2,243,000)	2,250,392 (2,250,392)	29.4 (29.4)	— (—)	— (—)	— (—)	29.4 (29.4)
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	200,000 (200,000)	202,911 (202,911)	2.6 (2.6)	— (—)	— (—)	— (—)	2.6 (2.6)
合 計	2,743,000 (2,743,000)	2,753,802 (2,753,802)	36.0 (36.0)	— (—)	— (—)	— (—)	36.0 (36.0)

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) ()内は非上場債で内書きです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

当	期	末		
銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
平成18年度第6回静岡県公募公債	1.91	100,000	100,309	2016/11/28
平成23年度第10回愛知県公募公債(5年)	0.325	100,000	100,020	2016/10/19
平成23年度第11回埼玉県公募公債(5年)	0.34	100,000	100,170	2017/3/28
小 計		300,000	300,499	
特殊債券(除く金融債)				
第10回政府保証中日本高速道路債券	1.8	100,000	100,266	2016/11/18
第3回政府保証西日本高速道路債券	1.8	240,000	240,758	2016/11/28
第869回政府保証公営企業債券	1.8	600,000	601,686	2016/11/21
第871回政府保証公営企業債券	1.8	422,000	424,565	2017/1/25
第19回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	476,000	476,066	2016/9/29
第21回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	100,000	100,326	2016/11/30
第6回政府保証東日本高速道路債券	1.8	205,000	205,606	2016/11/24
第8回政府保証西日本高速道路債券	1.7	100,000	101,117	2017/5/19
小 計		2,243,000	2,250,392	
普通社債券(含む投資法人債券)				
第306回中国電力株式会社社債	3.6	100,000	100,277	2016/10/25
第310回中国電力株式会社社債	3.225	100,000	102,634	2017/7/25
小 計		200,000	202,911	
合 計		2,743,000	2,753,802	

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 2,753,802	% 35.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,907,068	64.1
投 資 信 託 財 産 総 額	7,660,870	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2016年9月26日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	7,660,870,057円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,893,084,185
公 社 債 (評 価 額)	2,753,802,600
未 収 利 息	13,809,301
前 払 費 用	173,971
(B)負 債	1,245,918
未 払 解 約 金	1,230,280
未 払 利 息	11,390
そ の 他 未 払 費 用	4,248
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	7,659,624,139
元 本	7,544,440,838
次 期 繰 越 損 益 金	115,183,301
(D)受 益 権 総 口 数	7,544,440,838口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	10,153円

■損益の状況 (自2015年9月26日至2016年9月26日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	63,646,485円
受 取 利 息	64,923,230
支 払 利 息	△1,276,745
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△62,089,450
売 買 損	△62,089,450
(C)そ の 他 費 用	△233,618
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,323,417
(E)前 期 繰 越 損 益 金	110,485,572
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	6,131,769
(G)解 約 差 損 益 金	△2,757,457
(H)計 (D + E + F + G)	115,183,301
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	115,183,301

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。